

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	√るーと		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 5日		R8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20施設	(回答数) 10施設
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達・コミュニケーション・運動発達・アボガドシーに関する専門知識が豊富な職員が介入している。	専門知識の研鑽を積む為に研修を受けアップデートをしている。	訪問支援先の先生と知識の共有を継続する。
2	具体的な相談内容であれば解決するまで対応を行う。	利用児、訪問支援先双方にメリットとなる対応を行っている。	即時対応できることにはPDCAを循環させマネジメントしていく。
3	他機関と連携しながら介入している。	必要な職種と積極的な連携をとり多面的な対応を行っている。	一支援員、一事業所では解決し得ない事柄を他職種と分業しながら支援していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児が希望する回数で訪問支援が出来ていない。	事業所の職員不足。	職員数を整える。
2			
3			